

<研究内容→成果のイメージ>

<研究テーマ>

地域モニタリング調査

人口調査、地域実態調査 (R5年度想定)  
(人口、集落活動、小さな拠点、生活機能、行政)

○推移分析、10年後の状態予測  
↓  
人口、世帯、集落、生活機能の状態、発生する問題

重点研究 1

『今後の10年間の中山間地域振興に必要な視点』

重点研究 2

『持続可能な地域運営に備えた人材育成に関する研究』

○地域活動への参画誘因 (ワークショップ、PBL、地域環境活動、地元学等) 手法の整理と実施効果の分析  
○人、地域の力を引き出す手法「地元学」の有効性検証  
↓  
○地域志向教育の経験がない世代に対する対策を立案  
→地域や教育現場で活用できる地域志向カリキュラムの設計

地域づくり  
人材育成  
世代交代円滑化

今後必要な人口担い手対策の視点

A UIターン促進

B 関係人口との連携

C 少子化解消

重点研究 3

『人材環流を促す地域づくりに関する研究』

○県・市町村の人口移動の特徴の分析  
○Uターンに必要な心理的基盤 (帰属意識や愛着) の形成を促進する条件の分析、地域や自治体による有効な取組の把握  
↓  
○効果的なUターン促進手法整理 (地域、市町村、県の視点で)  
→「人材環流を促す取組の確認ツール」の開発

Uターン拡大、  
次世代環流促進

人口・担い手減少、高齢化の進行への対応に必要な対策の視点

D 持続的な共助の仕組みづくり (集落・地域運営組織)

E 生活機能の維持

重点研究 4

『関係人口と連携・協働した担い手確保に関する研究～関係人口と関わりしろの見える化～』

○関係人口実態分析 (居住地・価値観、意識、行動)、中山間地域に必要な関係人口像の整理  
○地域内外の関係人口と連携しやすい内容 (関わりしろ) の抽出  
↓  
○効果的な関係人口との関わり拡大に向けた方策整理  
→「関係人口普及ツール」の開発 ※市町村、県・定住財団と連携

各分野での  
関係人口  
との連携拡大

F 集落の小規模化へ対応したサービス、インフラ、コミュニティの在り方

G 働く条件づくり・企業の操業環境づくり  
※若者、子育て世帯定住の視点

重点研究 5

『少子化要因の研究Ⅱ～若者の婚姻率に及ぼす影響要因の研究～』

○婚姻率の市町村・地域間の差異分析  
○婚姻率への影響要因分析 (統計解析、アンケート・ヒアリング)  
↓  
○婚姻率、1世帯当たり子どもの数、女性社会増の総合促進策  
○少子化解消に向けた政策設計のための自治体自己診断シートの開発  
※少子化要因の研究Ⅰ (令和2～3年度重点研究) の結果と併せて

出生数への影響  
要因整理と対策

H 行政組織と地域・企業等の協働

第6期中山間地域活性化計画に反映

重点研究